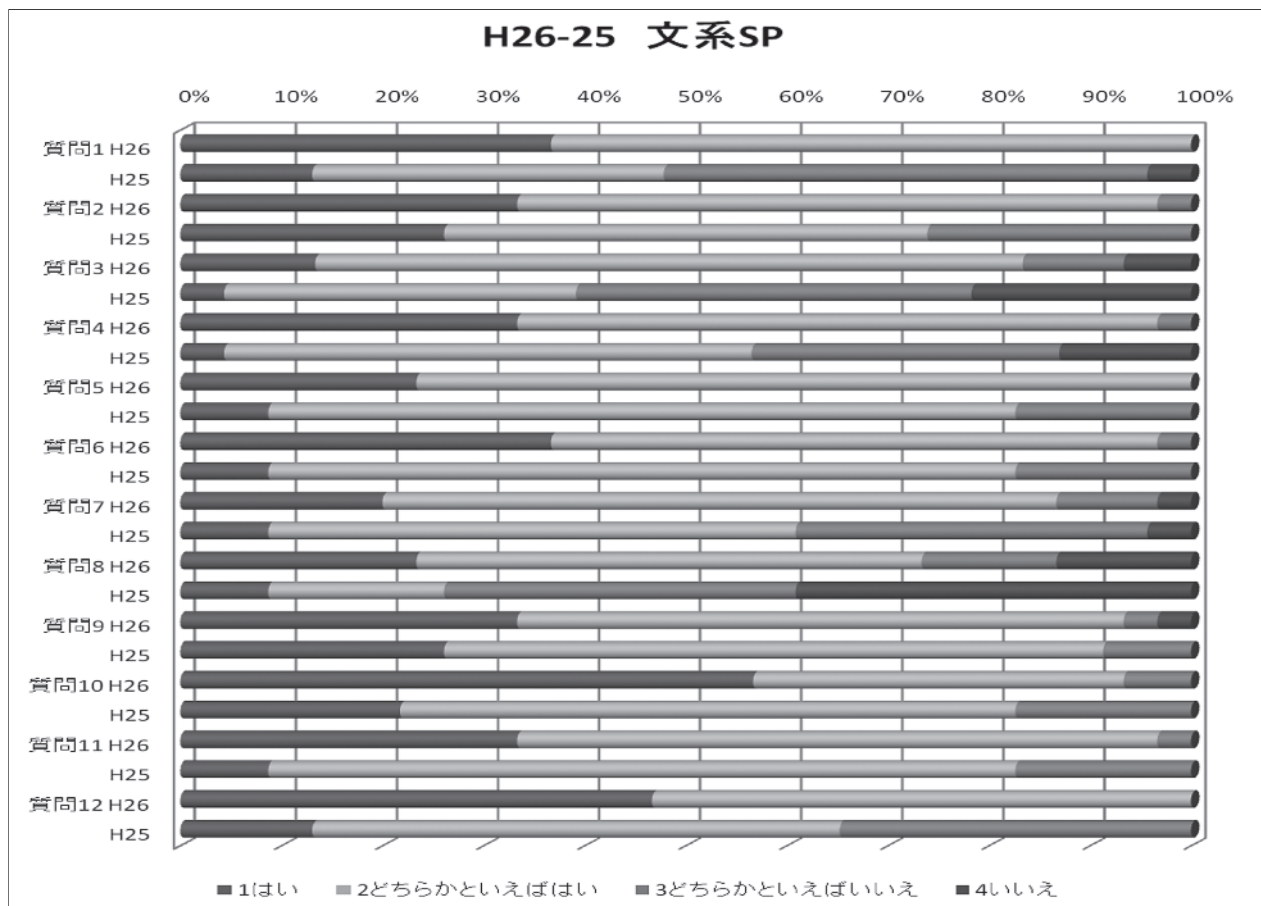
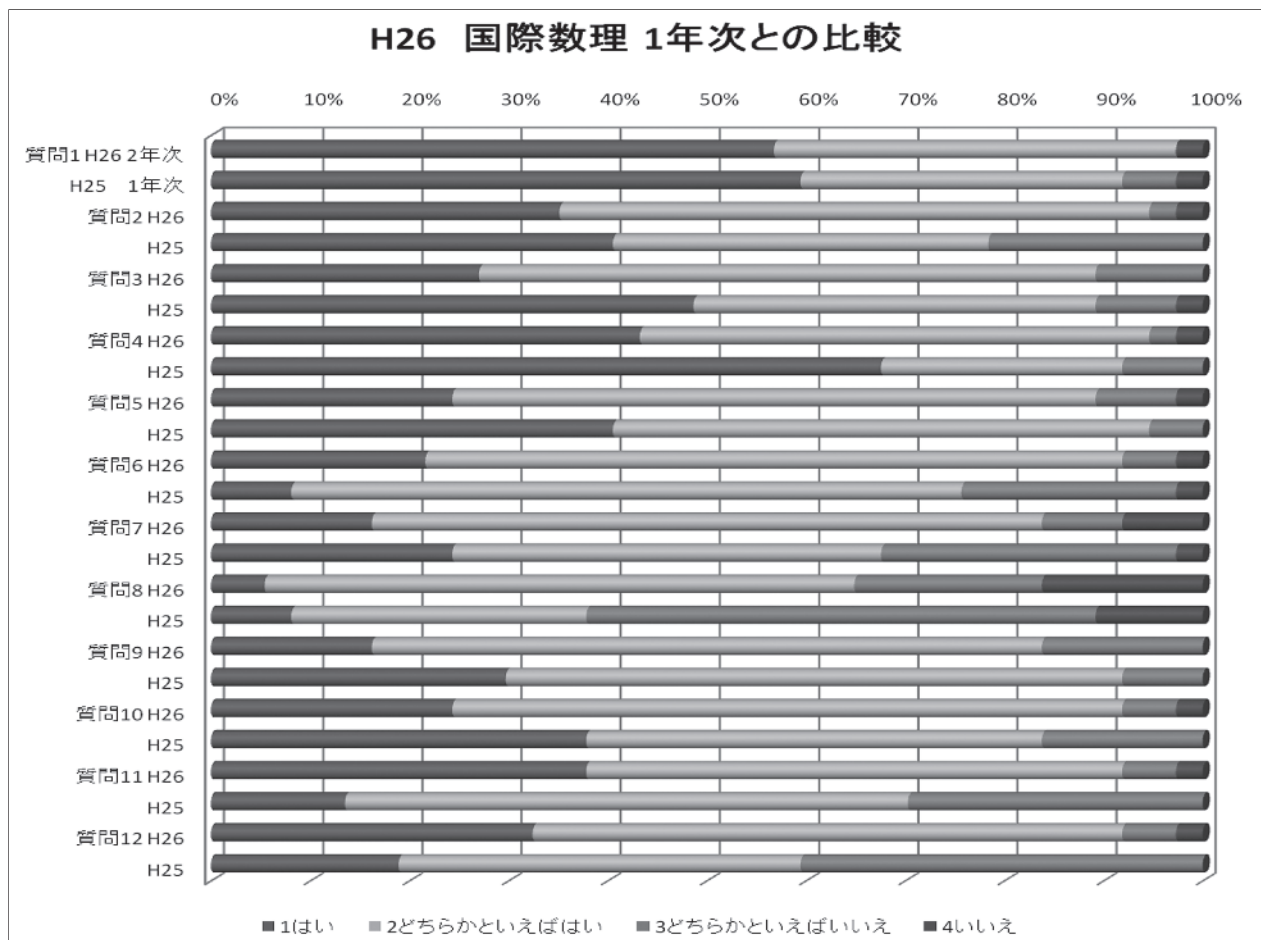


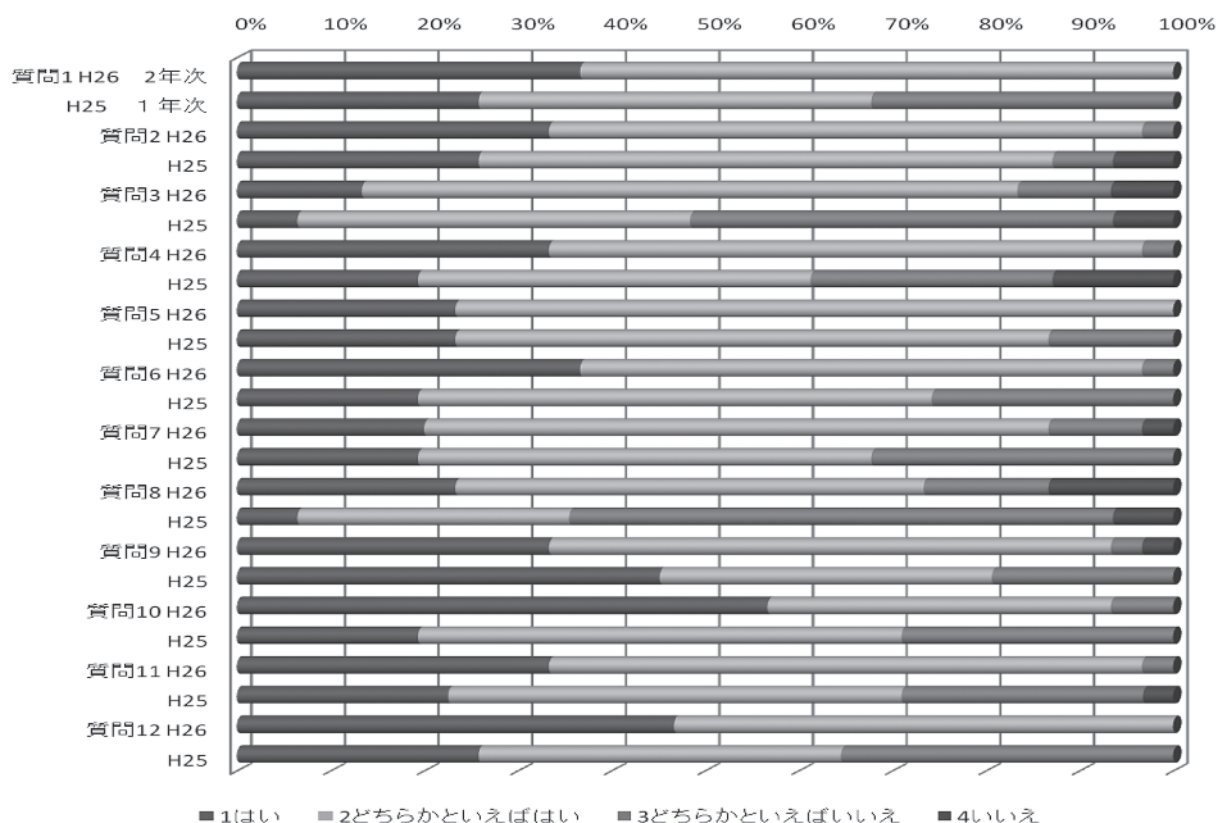


3. 国際数理コース・文系 SP コース経年比較

[H26] H26 年度国際数理コース・文系 SP コース [H25] H25 年度 同コース 1 年次



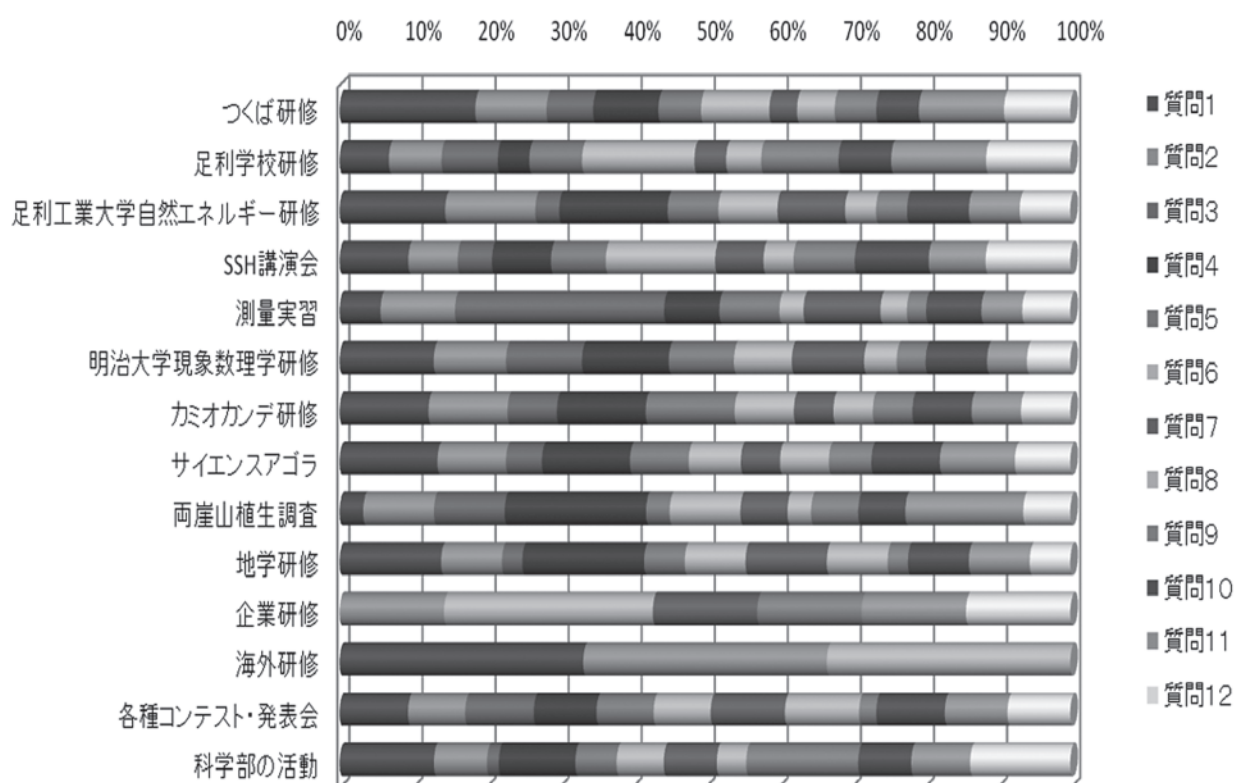
H26 文系SP 1年次との比較



4. 効果のあった研修 (H26 1年生)

各質問に対し、肯定的意見をもつ生徒が選択した、効果があった研修

H26 1年生 効果があった研修



【関係資料2】運営指導委員会の記録

＜第1回 SSH 運営指導委員会＞

日 時：平成 26 年 6 月 26 日（木）14:00～15:30

出席者：運営指導委員 6 名、本校校長、

本校 SSH 研究推進委員 7 名

栃木県教育委員会 1 名

次 第：

1. 開会
2. 学校長あいさつ
3. 運営指導委員・事務局の紹介及びあいさつ
4. 校内研究推進委員の紹介
5. 協議（説明・質疑）
 - (1) 本校における SSH 事業計画の説明
 - (2) 今年度事業計画の説明
 - (3) 海外研修の説明
 - (4) 研究推進体制の説明
 - (5) その他
6. 閉会

記 録：平成 26 年度の実施計画、2 年目となる海外研修等について本校から説明を行った。その後、下記の点について、意見、質問、要望があった。

- ・各事業実施にあたり、両毛線沿線間の SSH 校と情報交換を密に行っていく必要がある。
- ・各大会等で生徒が発表する機会が増えてきているが、これらの内容をきちんと聞き、さらに的確に質問する能力をつけることが重要である。
- ・H25 研究成果発表会での英語班の発表が素晴らしかった。
- ・SSH 事業を各生徒の進路（キャリア教育）とどのように結び付けていくのか。講演会等の受け身型から体験型事業が目立ってきている。自ら体験することで、将来の職業意識や進路により絡んでくるものと思われる。

＜配付資料＞

1. 本校 SSH 事業計画概要
2. 平成 26 年度事業計画書
3. 海外研修実施計画
4. 課題研究テーマ

＜第2回 SSH 運営指導委員会＞

日 時：平成 27 年 2 月 14 日（土）16:30～17:35

出席者：運営指導委員 5 名、本校校長、

本校 SSH 研究推進委員 8 名

栃木県教育委員会 1 名

次 第：

1. 開会
2. 学校長あいさつ
3. 協議（説明・質疑）
 - (1) 今年度事業報告
 - ①今年度足高 SSH 事業実施状況
 - ②実施の効果とその評価について
 - ③中間ヒアリング報告
 - (2) 次年度事業計画の説明
 - ①事業計画について
 - ②海外研修について
 - (3) その他
4. 閉会

記 録：同日 13 時 30 分から本校第 1 体育館にて、SSH 生徒研究成果発表会が開催され、運営指導委員の先生方にも参加いただいた。第 2 回委員会での主な意見、質問等は下記のとおりであった。

- ・年々着実に定着してきている。
- ・SSH での根拠に基づく探究、コミュニケーション等の活動を授業に取り込んでいき、生徒一人一人の指導に反映させてほしい。
- ・講演題目や講師の選定に生徒の要望を取り入れてみるのはどうか。
- ・探究結果から出た問題点を今後につなげる提案型のプレゼンに活かしてはどうか。
- ・客観的な評価が必要。統計の仕方が課題である。

＜配付資料＞

1. 平成 26 年度足高 SSH 事業実施状況
2. 実施の効果とその評価
3. 中間ヒアリング報告
4. 平成 27 年度足高 SSH 事業計画(案)
5. 平成 27 年度海外研修(案)

【関係資料3】教育課程表

○平成 26 年度全学年

教科	科 目	標準 単位	1年	2年				3年				
				国際数理	文系SP	文系	理系	国際数理	文系SP	文 A	文 B	理系
国語	国語総合	4	5									
	現代文	4						2	3	4	3	2
	現代文B	4		2	3	3	3					
	古典	4						2	3	4	4	3
	古典講読	4		3	4	4	3					
地理	世界史A	2		2	2	2	2					
	世界史B	4			4	4			4	4	4	
	日本史A	2			2	2						
	日本史B	4			4	4			4	4	4	
	地理B	4		3			3	3				3
歴史	日本文化史	2							2	2	2	
	世界文化史	2							2	2	2	
	現代社会	2	2					2	2	2	2	
公民	倫理	2						3	2	2	2	3
	政治・経済	2							2	2	2	
	政治・経済	2										
数学	数学Ⅰ	3	4									
	数学Ⅱ	4		4	4	4	4		3		3	
	数学Ⅲ	3						7				7
	数学A	2	2									
	数学B	2		2	2	2	2		2		2	
	数学C	2										
	数学活用	2										
	物理基礎	2	2									
	物理	4		3			3	4				4
	化学基礎	2		2	2	2	2		2		2	
	化学	4		2		2	2	4				4
	生物基礎	2	2									
	生物	4		3		3	3	4	3		3	4
	地学基礎	2			2	2			2		2	
	地学	4										
	化学基礎研究	2										
	生物基礎研究	2										
	地学基礎研究	2										
保健 体育	体育	7～8	3	2	2	2	2	3	3	4	3	3
	保健	2	1	1	1	1	1					
芸術	音楽Ⅰ	2	2			2						
	音楽Ⅱ	2										
	音楽Ⅲ	2								2		
	美術Ⅰ	2	2			2						
	美術Ⅱ	2										
	美術Ⅲ	2								2		
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	4									
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		4	6	5	4					
	英語表現Ⅰ	2	2									
	英語表現Ⅱ	4		2	2	2	2					
	リーディング	4						5	5	5	5	5
	ライティング	4						2	2	4	2	2
家庭	家庭基礎	2	2									
	家庭総合	4										
	生活デザイン	4										
情報	社会と情報	2	1									
SS	SS基礎	1	1									
	SS応用	1		1	1							
	SS発展	1						1	1			
	SS情報	1	1									
	SS探究Ⅰ	1		1								
	SS探究Ⅱ	1						1				
	SS学際Ⅰ	1			1							
	SS学際Ⅱ	1							1			
総合的な学習の時間		3～6				1	1			1	1	1
週授業時間数			34	34	34	34	34	34	34	34	34	34
特別活動(LHR)		3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合 計			35	35	35	35	35	35	35	35	35	35

【参考:記入例】

*)、]印は1科目選択を示す。

*地理歴史 (1)2学年 文系SPと文系は○印のどちらかの組み合わせを選択する。

(2)3学年 文系SPと文系A・Bは、2学年で世界史Bを選択した者は世界史B、日本史Bを選択した者は日本史Bを選択する。

*「日本文化史」、「世界文化史」、「地理研究」、「数学研究」、「化学基礎研究」、「生物基礎研究」、「地学基礎研究」は学校設定科目です。

*教科SSは「スーパーサイエンス」という学校設定教科で、SS基礎は「スーパーサイエンス基礎」という学校設定科目です。

*この「教育課程」は予定であり、諸般の事情で変更することがある。